

自分が本行事に始めて参加したのは2001年の第4回である。それ以降体調不良で急遽取りやめた2002年の第5回(スキー道具のみの参加)と2015年の第18回のみ欠席で、それ以外は毎回参加している。

野沢温泉スキー場には、大学卒業後の最初のシーズンの1972年に会社の職場から初めて行き、当時は現在ある2本のゴンドラもなく、上の平ゲレンデには上がるのにリフトしかなく、スキーブームの最中でもあり、大混雑で休日のリフト待ちは数時間が常識であった。その時は上の平ゲレンデに着いたのは昼過ぎで、更にその上のやまびこゲレンデも確か無かったと思います。しかも下りは現在のスカイラインコースがなく、林間かシュナイダーコースを降りるしかなく、あまり魅力のないスキー場としての記憶のみで、それ以降は訪れる機会もなく、もっぱら白馬、志賀高原や北海道のスキー場を主に職場同僚又は家族スキーで楽しんでいた。

ところが、1999年から2度目の東京の単身赴任勤務となり、東京在住のワンゲルOBとのお付き合いが増え、11期の青柳さんか同期の伊藤さんのお誘いで本行事に参加することになったと記憶している。

初参加の2001年第4回の記憶は定かではないが、覚えているのは薄暗い宿舎のスキーヤベットと11期の加藤氏のことである。大学3年の時に、彼は1年生の夏合宿メンバーであった。卒業以降久しぶりの再会であったが、当時の彼の面影はまったくなく、高校教師としての貫禄・風貌を十分備えており、且つビデオカメラを片手にゲレンデを滑りながら、宿屋では、参加者に対しての名インタビューとして、撮影されていました。そして、後日、その撮影された映像を基にして、写真や文章等を入れ編集且つ哲学的?なコメントを入れた素晴らしいビデオディスクを関係者に配布されていた。

当方も趣味の一環として、以前から家族を主な被写体としてビデオ撮影し、それを編集し、ディスク化し、楽しんでいたが、加藤氏のレベルには及んでいなかった。

ところが、彼の息子さんの就職初ボーナスプレゼント品のHDカメラに加藤さんが切り替えたところ、DVD化するためのハード及びソフト環境がなく、且つ多忙等の理由により、当方が代わりに編集及びDVD化を、第9回の2006年から始めた。

しかし、HD版の動画編集には手がかかり、スキー滑走等の高速移動被写体にゴーストが発生するため、当初はプロも使用する編集ソフトのデモ版を用いて解決したが、その後はデモ版の期限切れで使用できず、さりとて10万円以上する本ソフトを年金暮らしには手が出せず、アマチュアが使用するソフトを新規購入し、それではDVD化出来ないので、従来使用していた編集ソフトとの併用でなんとか本トラブルを少なくした。又HD動画のファイルサイズも大になり、編集集中にパソコンが度々フリーズし、これまでの編集内容が消え且つ再起動が必要で、こまめに保存していた。又パソコンをよりフリーズしにくいビスタに切り替えて、本トラブルを乗り切ったのが最初でした。その後、娘の結婚を機に、当方もHDカメラを購入し、野沢に持ち込み、皆さんの滑り等の撮影を始めました。

以降はビデオ撮影を加藤さん又は当方、編集は当方が担当したが、少しビデオ編集の苦労話をしたいと思います。

前述のパソコンが度々フリーズする件に関しては、OSがビスタでも時々発生するので、数年後には、前述の手が出ないプロ使用ソフトの代わりに、ロコミで本トラブルの少ない評判のセミプロ版を購入し、本件は解決できた。

カメラで撮影したビデオと写真及び皆さんのメール等を編集するのは楽しいが、目と腰も疲れる長時間作業となります。更に編集後は動画、写真、文字とBGMを一個の動画ファイルにする作業(エンコード)と目次付のビデオとしてディスクに焼くための前作業(オーサリング)が必要で、

この両作業はパソコンが自動的に処理してくれるが、当初は1時間ビデオ品で、その処理に約8時間が必要であった。そのため夜に編集作業を終え、深夜にパソコンを無人で動かし、出来上がったディスクを翌朝視聴し、不具合点を修正し、更に変換作業を数回以上繰り返す毎日であった。

しかし、数年後にIT技術の進化である第二代CPUのパソコンを購入し、その変換作業が約2時間程度と大幅に短縮した。その結果、上記サイクルが早くなり、以前は夏頃に皆さんに完成ディスクを提供していたが、5月の連休前後にそれが可能となった。なお最近の第六世代CPUではその変換時間は約30分です。

完成した作品は写真等を提供いただいた人及び希望者に毎年お届けしていたが、第14回の年からはYouTubeにもその完成した画像を限定公開の形でアップし、OB関係者にも閲覧できるようにした。

その結果、名カメラマンの11期加藤さんとの共同作業により、ビデオディスクとして記録されていないのは、両名が参加していない最初の2年間で両名のいずれかが参加していない第8、13、18回のみで、合計15年度分がDVD又はBDで作品化されています。又個人から特別に依頼を受けたものも含めると、そのビデオ作品数は30枚となりました。

なお、当方の退職後は時間的余裕が出てきたので、本合宿に入るための足慣らしを兼ねて、直前に白馬で滑り、その後にビデオカメラも持参して、野沢入りするようしています。

現在は、この合宿の20周年記念ビデオを制作することになり、20年間の大量のビデオや写真を如何に編集してひとつのビデオ作品にするか、悩みつつ、且つ楽しんでいるこの頃です。

(2017. 3. 16記)



(11期加藤さんと私のビデオ作品)